

## 目標達成計画

作成日: 令和6年 4月 16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践ができていない。	入居者を尊重し、一人ひとりに寄り添う支援をこれからも努めていく。	評価調査日後直ぐに、玄関・各階の事務室に法人理念と施設理念を掲示した。外部にも方針を伝えていく。職員には改めて認識してもらい、日頃の関わりを見直していく。	3ヶ月
2	35	災害対策の体制整備が遅れている。	非常時持出書類作成や災害時備蓄品の定期的な確認を徹底する。	持出書類の再作成、備蓄品の不足分の確認を行う。 火災訓練は、今後も定期的に年2回実施し、夜勤従事者も含む全職員の参加を促していく。 消防署主催の研修には必ず職員の多数参加を行う。	12ヶ月
3	4	運営推進会議録の配布ができていない。	これまで出席されていなかった方へも参加呼びかけを行い、より多くの家族や地域有識者の意見聞き取りを目的とする。	不参加家族には、月一回料金支払いの面談時に、会議録を直接配布して説明する。配布できない場合には、郵送して運営に関わる理解を得ていく。次回参加の促しを行っていく。 ※地域有識者へも同様に対応を行っていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月